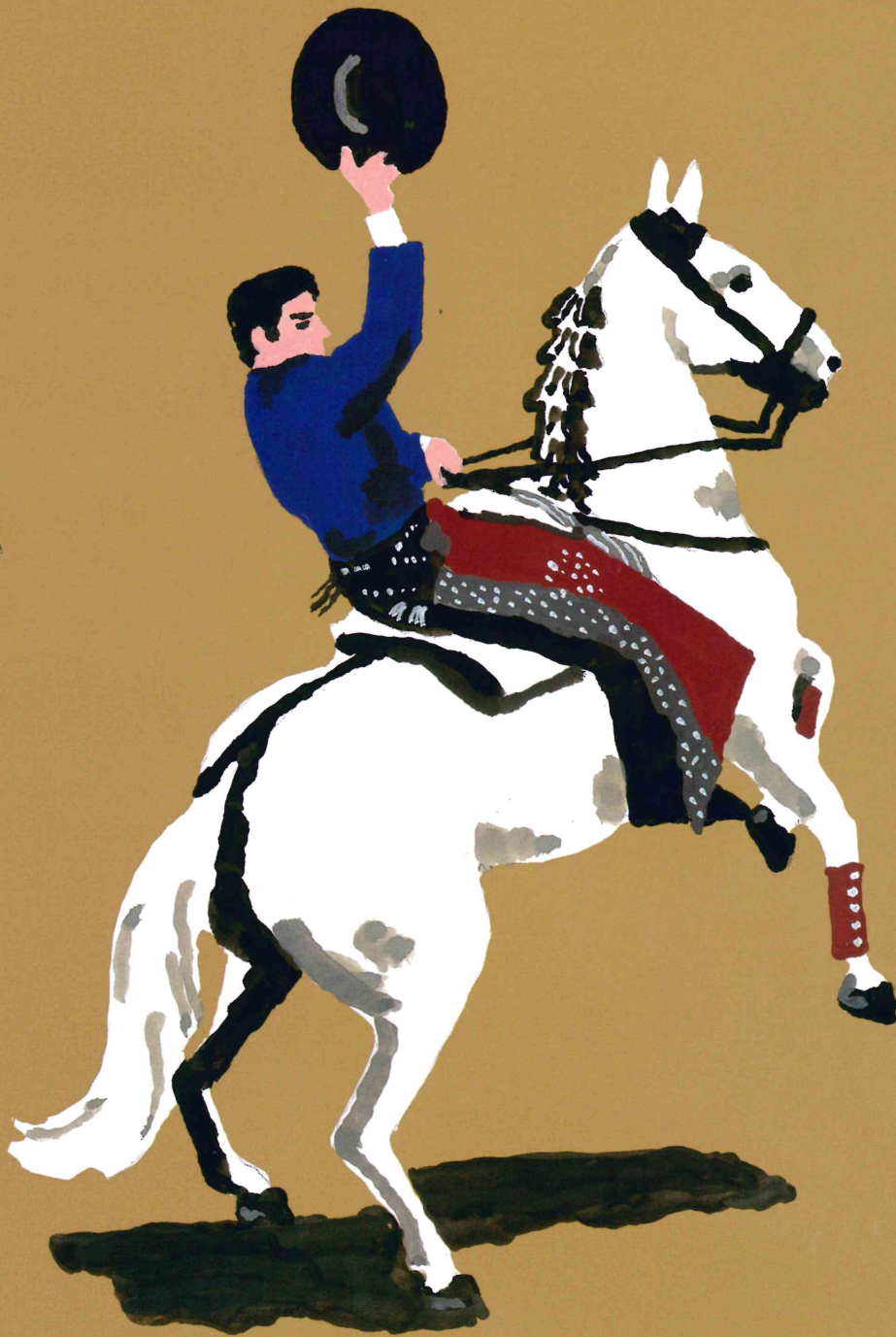


週刊文春

7月6日号 定価420円



小林麻央

享年34

姉・麻耶が看取った

「最後の日々」



六月二十二日 夜、自宅で最愛の家族に囲まれて旅立った小林麻央。その傍らには姉の麻耶(37)がいた。

「お母様もお父様も、麻耶さんも子供たちも、ずっとそばにいられた。かけがえない時間を過ごせた」

妻を亡くした翌日、市川海老蔵(39)は顔を赤く腫らした顔で会見に臨み、二年八カ月に及ぶ闘病生活の最後を振り返った。

麻耶も妹への心痛で昨年5月から約1年の長期休養に入っていた

男の勸玄君(4)は一夜明けた朝も母の顔を摩ったり、足を触ったりしていたという。七月には歌舞伎座に出演し、最年少の宙乗りを披露する予定の勸玄君。子供たちの成長を麻央が見守っていけないことを、海老蔵は「心残りだと思います」と推し量った。

そしてもう一人、麻央の子供たちへの思いを痛いほどわかっているのが麻耶だ。約三カ月前、麻耶は小誌

のインタビューで今年一月に退院し、家族と暮らす幸せを噛みしめる妹の姿を語っていた(四月十三日号)。「三月二十二日が勸玄君の四歳の誕生日で、妹は頑張っていて、飾り付けも全部して、お誕生日プレゼントも用意して、本当に楽しそうにしています。健康体の人が言うような、動ける状態ではないです。一つひとつはゆっくりやっていますし、『息が生がっちゃう』とすぐに疲

れてしまいます」麻耶は子供たちの世話などで妹をサポートしていた。「甥っ子は今歌舞伎っこのハマっているんですけど、私は悪役で激しく何度も斬られるんです(笑)。とにかく子供はパワーがあるので、妹は観客役です。子供たちもわかっていて、『ママ、そこに座って』と言うと、妹は微笑んで観ています。あと私が手伝っているのは幼稚園のお迎えに行ったり、妹が見ら

「泣いちゃいますよね」と海老蔵は涙を拭いながら話した(6月23日)

れない子供たちの様子を動画で撮って妹に見せたり、ということですよ」

イメージ通りのハイテンションで話す麻耶だったが、妹の容態が決して樂觀視できないことも窺えた。

「妹とは、未来のことは話しません。今度どこに旅行に行きたいとか、そんな先のこと考えられる状態ではありません。大事な今は生きていくということ。

今日、生きています、点滴を打っています、ご飯を食べられています……以上。それが有難いことです」

麻央自身、当時のブログに病状を率直に綴っている。〈血液検査の結果、思っていたより悪かった。身体に良いことしかしてないのに何故だろう〉(三月二十九日) 〈ここ数日、息切れとしんどさに襲われどうやって乗り切ろうか試行錯誤しています。しこりをさわると思います。しこりも大きくなつちもこつちも大きくなつたと感じ、そんなときは同じ先輩から頂いた言葉、「春芽吹くとき、癌も花開いても落ち込まないこと」を思い出しています〉(四

月九日)

四月二十二日には今は、自分の力では難しい」と再入院したことを明かした。

鎖骨下に点滴用のポートを埋め込む手術を受けるなど、病室で過酷な闘病を繰り返して

「愛してる」

海老蔵は会見で、喋ることもできない容態だった麻央が臨終際にこの一言を残していったと涙ながらに明かした。長女の麗禾ちゃん(5)はその夜、麻央のそばを離れようとせず、長

「姉神」です

この下手そうに見えるマッサージも絶妙で、信じられない程上手なのです。浮腫んだ足が、軽くなり、爪の血色も蘇りました。不思議な「姉神」です。毎日ありがとう」

だが、その後がんの転移が発覚。五月二十九日に退院し、在宅医療に切り替えていたが、六月二十二日に息を引き取った。

残された家族も悲しみを抱えながら、芸能一家としての日常に戻らなくてはならなかった。海老蔵は二十五日、公演「ABKAI」の千秋楽に臨み、勸善懲惡の石川五右衛門を演じた。

「村の娘を預かってるからよー」劇中、海老蔵がオレンジの着物姿の麗禾ちゃんを抱

け、子供と会うことが叶わない状況の妹を、麻耶が支えていた。五月十七日の麻央のブログには、麻耶がベッドの脇に座り込んで自分の足をマッサージする写真が載せられている。

「生まれた時から可愛くて可愛くて、どうしてこんなに妹が好きなんだろうと自分でも不思議に思っていました。世界一愛しい存在です。(中略)もっと一緒にいたかった。もっと一緒に話したかった。もっと一緒に笑っていたかった。もっと一緒に泣いていたかった。一緒に、生きていきたかった」

麻耶も、妹を亡くした翌日にJFN系ラジオ「LOVE in Action」(7月3日放送予定)の収録に臨んでいた。「中止もやむを得ないと思われていたのですが、麻耶さん自身の希望で、予定通り収録が行われました。彼女は周囲を心配させまいという気持ちもあるのではありません。気が丈な様子でした。番組は日本赤十字社がスポンサーで、献血を啓蒙する内容なのですが、麻耶さんは番組内で、麻央さんも輸血

のインタビューで今年一月に退院し、家族と暮らす幸せを噛みしめる妹の姿を語っていた(四月十三日号)。「三月二十二日が勸玄君の四歳の誕生日で、妹は頑張っていて、飾り付けも全部して、お誕生日プレゼントも用意して、本当に楽しそうにしています。健康体の人が言うような、動ける状態ではないです。一つひとつはゆっくりやっていますし、『息が生がっちゃう』とすぐに疲

麻耶はこうも綴っている。〈ブログの写真を楽しそうに撮る妹の姿が私は好きでした〉

麻央はブログに多くの写真をアップした。亡くなる二日前の二十日も、笑顔の自撮り写真とジューズの写真を載せ、こう書いた。

〈ここ数日、絞ったオレンジジュースを毎朝飲んでいきます。(中略)今、口内炎の痛みより、オレンジの甘酸っぱさが勝る最高の美味しさ! 朝から笑顔になります。皆様にも、今日笑顔になれることがありますように。〉

これが麻央の最後のブログとなった。享年三十四。早過ぎる旅立ちを悼む。

灵芝が愛飲の皆様に、おトクなニュースです!

日本をはじめ、アメリカ・中国の州、国立大学でも研究用に採用された

高品質 飛驒靈芝

よいものだからこそ長く愛飲してほしい、そう考えたから、この価格が実現しました。三十年以上にわたる科学的な研究、栽培実績の成果を結集したのが「飛驒靈芝」です。その品質は国内・海外で高く評価され、研究用靈芝として採用されています。*「飛驒靈芝」は商標です。

1kg 30,000円
500g 17,000円(送料別)

http://www.dai1-yakusan.co.jp/

飛驒靈芝 第一薬産 検索

0120-32-0963

第一薬産株式会社